昭和58年　第847号
5月22日

市報 にいがた

市の人口
前月比
人口 459,201(+2,320)
男 225,008(+1,310)
女 234,193(+1,010)
世帯数 148,184(+1,665)
58年4月末現在

発行日 毎週日曜日
発行所 新潟市役所
新潟市西堀通6番町
866
電話代表(28)1000
編集人 二宮省三
(担当企画部広報課)
印刷所 (株)第一印刷所

松浜地区

空ビン回収スタート

夏には松浜地区全域に

省資源とゴミ埋立地の延命図る

三月にテスト実施が行われた松浜地区の空ビン回収が、本格実施となり、五月九日、三回目の回収が行われました。六月には新たに四自治会増え、十自治会が参加し、夏までには松浜全域が実施する予定です。市ではこの運動を市内全域に広めていく考えです。

「捨てるより町内総出でリサイクル」―松浜地区で

「捨てるより町内総出でリサイクル」―松浜地区で空ビン回収。今回は初回より三自治会多い六自治会が参加しました。

午前六時半から同八時までに三百九十四世帯から集まった空ビンは三千百九十kg。今回で三回目という自治会では、テスト実施よりも持ち込み世帯、収集量ともに増え定着がうかがわれます。

婦人会のメンバーが交代で指導員に立ち、「面倒がらずに持ってきてくれるし、マナーも良く協力的」と集まったビンを袋に詰めていました。

空ビン回収実現のキッカケは松浜婦人会が「空ビンリサイクルをぜひ新潟でも」と昨年春から松浜生活学校を開き勉強を始めたことから。

自治会内でも気運が高まり、自治会、婦人会、松浜生活学校と市が協議を重ね、今年三月十四日にテスト実施を行いました。その結果、地元の強い要望もあり、本格的にスタートしたものです。

この運動は、燃えないゴミとされている雑ビン（ウイスキー、化粧品、油等）を分別収集し、資源として再利用するもので、省資源、埋め立て地の延命化になると注目を集めています。

現在市内には濁川、赤塚にゴミ埋め立て地がありますが、濁川埋め立て地の用地、施設などに十億円以上要しており、燃えないゴミが減って少しでも埋め立て地が長く使えればと期待がかけられています。

空ビンを出しにきた松浜五の大田みさ子さんは「省資源になるし、埋め立て地も長く使えてすごくいいことだと思います。捨てるより役に立てたいし、回収にも協力していきたいわ」と語っていました。

回収された空ビンは新潟ガラスリサイクルセンター（亀田町）に六千三百八十円で売却されました。

「オオルリ見えるかな？」

青山海岸林などで探鳥会

「愛鳥週間」を前に五月八日の早朝、青山海岸林と西海岸公園の二カ所で探鳥会が行われ、両会場合わせて二百人が野鳥の姿を楽しみました。

青山海岸林では、小学生、親子連れなど約八十人が午前六時、青山小学校前に集合。「にいがた野鳥の会」のみなさんを講師に数班に分かれて松林を歩きました。

まず出迎えてくれたのはヒヨドリ。進むにつれウグイス、キジ、珍しいオオルリなどの声も聞こえてきます。参加者は静かな林の中で、きえずりに耳を傾け、なかなか姿を見せない鳥を双眼鏡で追います。

「名前が分れば親しみも増す」と講師の説明や図鑑を片手に一羽一羽確認していました。

寺尾から来ていた野口慶美さんは、「一家五人、五時に起きて参加しました。聞き覚えのあるさえずりですが、今日名前を覚えたのは二―四種類くらいです。だんだんに覚えて楽しみたいです」と語っていました。

四～五月は渡り鳥が羽根を休める時期とあって、午前八時までに三十一種が確認されました。

五月いっぱいは野鳥の見ごろです。朝日の中で野鳥のさえずりに耳を傾けてみませんか。

「ほら、あそこにいるよ！」
青山海岸林で野鳥を見る人たち

契約は慎重に！

あの手この手の訪問販売

最近、訪問販売による被害が特に増えています。

昨年度、市消費生活センターに持ち込まれた訪問販売の相談は二百四十七件で、五十六年度の百五十四件を大きく上回っています。訪問販売には十分気をつけましょう。

相談の主な品目は①教材・書籍②印鑑③化粧品④寝具⑤大理石の壺―などで、被害額は十万円代から二～三十万円というものが多く、壺など一個二～三百万円というものもあります。

訪問販売の代表的な手口は、

かたり商法　消防署員など公務員をかたる（消火器等）

開運商法　手相などを見て購入しないと不幸になるなどと言う（印鑑・壺）

SF商法　安売りなどの名目で人を集め、言葉巧みに高額商品を買わせる（羽毛布団、あんま器等）

キャッチセール　路上で呼びかけ喫茶店等に誘い売りつける、車の中から呼び止め、有名店をかたって売る（化粧品、反物等）

アポイント商法　電話で海外旅行が安く行けるなどと誘う（英会話教材）――などがあります。

〈訪問販売に出会ったら〉

◉不要なものは最初からキッパリ断わり、説明を聞かない

◉説明を聞いてもすぐ承諾しないで家族と相談するか、二～三日冷静に検討する。

◉印はすぐ押さない（契約書を十分読む）

◉現金は全額支払わない

〈クーリングオフ〉

契約日から四日以内に、書面書留（内容証明郵便が確実）で業者に解約の通知すると、契約が解除できる制度です。ただし、現金で全額支払い済みの時や、使用したときはこの制度を行使できなくなります。

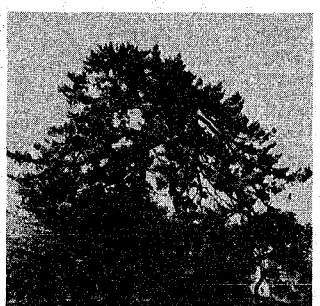
解約の場合は市消費生活センター（☎28―八一〇〇）へ早めにご相談下さい。

五月三十一日までに

国民健康保険料の第一期納入期限は五月三十一日です。忘れずに納入して下さい。

保存樹を訪ねて ⑧

新通の大松（おおまつ）



地元の人から〝大松〟と呼ばれるクロマツは、枝が下に向って伸び、先の方ははね上がる見事な松だ。樹齢が三百年以上にならないとこのような形にならないという。

吉田家は、出羽、越後、越中の守護の守を勤めた旧家とか。城吉田といわれた。

大松は昔、曽根の代官所の役人を接待する「上段の間」の庭木として植えられた。このほかにツバキ、サルスベリ、ジョテイーなど立派な木がたくさんある。

（メモ）所有者　吉田ツタ　所在地　新通　樹種　クロマツ　樹齢　約三百八十年　幹周　三・五㍍　高さ　二十㍍

新大医学部附属病院の休診

防災関係設備、電気系統の一斉点検のため外来診療を休診します。

休診日　5月28日（土）

西海岸プールの開館時間変更

5月24・25・26日は、一般利用の開館時間を午後4時から7時までに変更します。

「若人の集い・バスハイク」

～中野原高原牧場～（下田村）

日時　六月五日午前八時半～午後五時半

※雨天の場合はボーリング大会に変更

対象　青年男女各二十一人　**参加費**　三千円

申し込み　市農業委員会農政係（☎41―四一一一内線二九七）へ

献血車「ゆうあい号」

月日	時間	会場
5・23	午前9時～午後3時半	市陸上競技場前（一番堀通り）
5・24	午前9時半～午後3時半	県信連ビル（寄中通り）
5・25	午前9時～午後3時半	丸山ビル前（米山3）
5・26	午前9時～11時半	東芝家電販売㈱（女池6）
5・26	午後1時～3時半	新潟フジカラー㈱（幸栄2）
5・27	午前9時～正午	県陸運事務所（出来島）
5・27	午後2時～4時	県立ガンセンター新潟病院（川岸町2）
5・28	午前9時半～午後3時	新潟駅前（花屋1）
5・29	午前9時半～午後2時	県民会館前（一番堀通り）

※正午から午後1時まで受付け付けは休みます

市園芸センター講座案内

会場　市園芸センター

申し込み　5月22日から電話で市園芸センター講習会係（☎86―1034）へ

◉**盆栽講座～サツキの樹形づくり～**

日時　5月27日午後1時15分～3時15分

講師　渡辺　亮（日本植木協会会員）

定員　50人（先着順）　**持参品**　木ばさみ

教材費　1,000円

◉**苗作り講座**

日時　5月29日、8月7日、9月25日午後1時15分～3時15分

講師　佐藤　功（県菊花連盟会員）

定員　30人（先着順）